

漁師の資源管理勉強会 第1回 ズワイガニ編

— 持続可能な漁業で収益を上げる —

2024/7/25 (木) ・ 26 (金)

(懇親会あり)

参加費
無料!

会場：京都テルサ【〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町 70】

※別件で7月25日に開催される水研によるズワイガニ資源調査報告会に合わせて開催します。
勉強会参加のみなさんは、資源調査報告会にも参加できます。

こんな方におすすめ

MSY、ABC など、資源管理用語を学びたい！
資源評価や TAC 設定のプロセスについて理解したい！
資源管理をブランド化やビジネスにつなげたい！

アメリカで行なわれている MREP（海洋資源教育プログラム・詳細は裏面参照）をモデルにした、「漁師による、漁師のための（By Fishermen For Fishermen）資源管理の勉強会」です。水産資源研究所の科学者や、水産庁の資源管理担当者と直接意見交換できるよい機会です。

【プログラム（案）】

7月25日（木）9：00～12：00

「科学を学ぶ」

- 海の中の魚をどうやって数えるの？
～資源評価の基本～
- MSY ってなに？
- ズワイガニの資源評価の方法
(13:00～17:00 ズワイガニ資源調査報告会)

7月26日（金）9：00～12：00

「管理を学ぶ」

- TAC ってなに？
- 漁業者の声はどうやったら届くの？
- ズワイガニの資源管理の歴史とブランド化

【お申し込み】QRコードを読みとり、専用フォームよりお申込みください。
勉強会の内容はまだ案の段階ですので、ご要望があればぜひフォームにご記入
ください。[参加希望者には、詳細が決まってきたら、随時ご連絡致します。]



主催：MREPパイロット運営委員会
連絡先：一般財団法人 EDF ジャパン Fenjie (fchen@edf.org)
日本サステナブルシーフード協会 鈴木 (080-5186-0177)

MREP（海洋資源教育プログラム）について

MREP とは？

MREP（Marine Resource Education Program）は、アメリカで開催されている漁業者のための教育プログラムです。漁業管理の科学やルールが複雑で分かりにくいのは、日本もアメリカも同じです。この分かりにくい漁業管理の仕組みを理解するために、2001年にアメリカで MREP が立ち上げられました。最初はかなり小規模でしたが、現在ではアメリカ全国で展開しており、毎年数百人の漁師が参加する超人気イベントとなっています。

今回、日本で初めて開催する MREP は一日となりますが、アメリカのフル MREP は以下のように3日間から5日間にわたって行われます。毎回、漁師のニーズに合わせて盛り込まれています（以下は一部過去のカリキュラム事例です）。

- 海洋漁業の科学と管理の概要
- 略語や語彙の解説
- 地域の漁業管理協議会（FMC）に効果的に参加するためのツールと見識
- 地域の主要な漁業科学・管理の専門家との単独交流と関係構築
- 漁業現場の視察と行政、研究者から漁師の声を聞く

なぜ日本で開催するの？～私たちの思い～

2018年に漁業法が改正され、2020年に施行されましたが、漁業改革の歩みは当初の計画よりも大幅に遅れています。その背景には、漁業者と科学者・行政とのコミュニケーション不足、理解不足、信頼不足があり、特に現場の声がきちんと届かない問題が深刻です。漁業の将来を見据え、未来につながる産業とするためには、漁業者が水産資源の科学や管理を理解し、資源評価、管理などの面で行政や研究者と対等に交流できるようになることが重要です。また、行政や科学者も漁業現場を理解し、お互いに理解を深めることによって三者の信頼を構築することが重要です。そのために、今回の MREP パイロットを開催することを決定しました。

今回の日本版 MREP はズワイガニ漁業をテーマに始まり、将来的には他の地域や漁業にも展開していきたいと考えています。

アメリカ MREP 公式サイト：<https://mrep.gmri.org/>

アメリカでの MREP の様子

